

平成30年度 第3回大東市産業振興市民会議（報告）

1. 日時・場所 平成30年10月5日（金）午後3時30分～5時30分
大東市役所 東別館2階会議室

2. 出欠

【出席】

会長	（株）山田製作所 代表取締役社長	山田 茂
副会長	NPO法人住まいみまもりたい 理事長	吉村 悦子
委員	大阪産業大学 教育研究推進センター長・デザイン工学部教授	濱崎 竜英
	大阪経済大学経営学部准教授	遠原 智文
	新大阪食品産業（株） 代表取締役	北尻 正太
	NPO法人大東夢づくりコミュニティ 代表理事	中村 朋子
	小金屋食品株式会社 代表取締役	吉田 恵美子

市 政策推進部長 北本 賢一
事務局 産業振興課 坂本課長・坂本課長補佐・林

【欠席】

委員	明星シンセティック（株） 代表取締役社長	上田 隆章
	大東市商業連合会 会長	角谷 昌寛
	大東商工会議所 常議員	伊泊 規子
	近畿経済産業局 地域経済部 地域開発室長	田口 一江

3. 議案

（1）次年度へ向けた施策案検討
各委員からの意見

●中小企業の福利厚生支援について

- ・人材確保が一番の課題となっている。福利厚生の充実など働きやすい環境づくりが大切になってくる。
- ・福利厚生は正社員だけに限定するとパート社員との間で不満が出る。
- ・福利厚生でフィットネスクラブを利用できるようにしたが、数回行った後行かなくなってしまった。継続して利用される制度が必要である。
- ・人事評価に健康の項目を入れているサンスターのように、従業員の健康を考える「健康経営」の推進は今後重要になってくると思う。
- ・人間ドックへの補助もあるが、健康診断を充実させれば人間ドックに行かない人でも病気の早期発見につながるのではないか。
- ・今はメンタルヘルスのケアも重要である。
- ・仕事の後に健康に関するセミナーを開催しても健康に興味がある人しか

来ない。興味を持ってもらう、やりたくなるような仕組みが必要。

- ・健康には歯も重要である。歯磨きの時間を設けることや、歯の定期検診に補助があれば良いのではないか。
- ・食事前の歯磨きはダイエット効果があると聞いた。(メタボリック対策)
- ・現在は少なくなってきたが、従業員を社宅に住まわせることで、転職防止や災害時のリスクマネジメントにつながるメリットがある。
- ・市営住宅の一室を社宅として事業者に貸す案が進んでいる。
- ・おおさか東線や大阪モノレールの延伸により便利になっていく予定だが、大東市が住みたいと思える町になっているかが重要ではないか。
- ・福利厚生は儲けないとできないが、逆に、儲けるために福利厚生が必要とも言える。取引先でも、福利厚生として社員食堂を続けている会社は存続しているが、社員食堂をやめ弁当などにした会社は廃業したところもある。
- ・食事は幸せに直結していると思う。
- ・大東市の西部地域は事業所が集中している。複数の事業所が社員食堂をシェアすることはできないか。
- ・新田地域には公園もある。Park-PFIによるおしゃれなカフェなどが社食も提供できれば魅力向上につながるのではないか。

●図書館におけるビジネス支援サービスについて

- ・大阪産業大学と大東市は人材育成における協定を結んだので、大学の図書館の利用などで協力できることもあると思う。
- ・ブランディング事業など、大東市の企業と組んで共同研究を進めたい。
- ・教員の必要な本は自室にあり、生徒はインターネットの利用で済ませている。図書館の利用方法についてもっと検討が必要ではないか。
- ・今のメンタルの状況から司書が本を探してくれるサービスがあるが、ビジネスでも事業の課題や悩みなどに参考となる資料やデータを探してくれるのであれば事業者も行くと思う。
- ・現在は新聞記事も全てデータ化されている。各種統計結果などのビッグデータの活用法も図書館でできればよいのではないか。

●多様な働き方について

→在宅ワークに関する資料を基に事務局から説明

- ・まずは事業者が仕事の切り出しをすることが、女性だけでなく障害者や高齢者などの多様な働き方につながるのではないか。
- ・仕事を見つめ直すと切り出せる仕事はいっぱいある。
- ・マッチング交流会をすることで、まずは若い人の感性に触れたい。

4. 市長提言について

今回の意見交換を基に、会長と事務局により打ち合わせを行い、会長から

市長へ提言を行う。

5. 次回開催について

3月28日（木）15：30～開催予定。